

授業科目

視覚機能学演習I

担当教員名 石井 雅子 他	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	◎

授業の概要

視能訓練士として必要な医療コミュニケーションの理論と実践方法を系統的に学習する。医療従事者相互、医療従事者と患者間における医学および医療分野に関係した知識や情報のやりとりを円滑に進める手法を学ぶ。眼科部門で想定される具体的な実践例の紹介から課題の持つ問題点を検討する。

授業の目的

特徴的な眼疾病を理解し検査データの読み方、検査および訓練の進め方を医療コミュニケーションの側面から習得する。

学習目標

1. 医療現場で必要なコミュニケーションの心構えを理解できる。
2. 対象者との関係を築くコミュニケーションを理解できる。
3. 主体的な行動を引き出す支援を説明できる。
4. チームの一員として仕事を進めることを理解できる。
5. 眼疾患を理解し適切な検査法、検査データの説明ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス、ケアコミュニケーションの基本的な心構え 課題（不同視弱視）説明	演習	石井 雅子 他
2	グループ別ワーク 1 検査データの説明	討議	石井 雅子 他
3	グループ別ワーク 2 必要な検査の組み立て	討議	石井 雅子 他
4	グループ別ワーク 3 治療計画の立案	討議	石井 雅子 他
5	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子 他
6	被援助者との関係を築くコミュニケーション 課題（サルコイドーシス）説明	演習	石井 雅子 他
7	グループ別ワーク 1 検査データの説明	討議	石井 雅子 他
8	グループ別ワーク 2 必要な検査の組み立て	討議	石井 雅子 他
9	グループ別ワーク 3 見え方への配慮	討議	石井 雅子 他
10	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子 他
11	被援助者の理解と情報の交換、行動化の支援、 チームワークとコミュニケーション 課題（網膜色素変性）説明	演習	石井 雅子 他
12	グループ別ワーク 1 検査データの説明	討議	石井 雅子 他
13	グループ別ワーク 2 必要な検査の組み立て	討議	石井 雅子 他
14	グループ別ワーク 3 支援計画の立案	討議	石井 雅子 他
15	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	ケア・コミュニケーション	麻生塾ケア・コミュニケーション研究会 (編)	ウイネット	2013 年	2,000円+税	
参考書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011 年	18,000円+ 税	
その他の資料	適宜、プリントを配布する。					

評価方法

定期試験：70%

課題発表：20%

提出物：10%

履修上の留意点

授業には毎回、iPadが必要である。

グループワークでは1グループにパソコンを1台用意すること。

締切を過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週火曜日の昼休み

メール：ishii@nuhw.ac.jp

研究室：P309